

「試練と誘惑」ヤコブ1：12～18

I 誘惑は、神からではなく悪魔と私たち自身の欲によるもの。

1. 「だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってははいけません。聖く一点の汚れもない神は、悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません」：13。
2. 「人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです」：14。誘惑を神のせいにし、責任転嫁をしてはならない。「だまされないようにしなさい」：16。原因は、神ではなく、「自分の欲」と明確に言われている。私たちは皆、心の内側に罪の欲がある。外側が立派そうに見えても。「内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、それらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです」(マルコ7：21～23)。「自分の欲に引かれ」→外の悪い場所に引かれる前に、自分の内面の欲に引かれることから罪は始まっている。「おびき寄せられて」→原語は「えさ」から由来する。私たちは、安全な場所からわざと出て、悪のえさに引き寄せられ、その中に罪と死の針があることも知らず、おびき寄せられる。それゆえに→①私たちはまず、自分の心の内側が聖められるように祈ることが大切。「神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください」(詩51：10)。②できる限り、罪のえさが多く、自分が弱いとわかっている所に近づかない。「あなたの道を彼女から遠ざけ、その家の門に近づくな」(箴5：8)。不品行、有害サイト、不正の富、異性との不倫の罪からの守りのため。祈りたい。悪に近づかないという消極的面だけでなく、その分、素晴らしい神に近づき、幸いな交わりを持ちたい。③自分に罪を犯させるものから、必死に逃げ(創39：10～12)、避ける「不品行を避けなさい」(Ⅰコリ6：18)。試練は、主に頼り、受け止め、逃げないで、そこにおられる主にとどまる。逆に罪の誘惑は、主に頼り、避けることが大切。④自分の罪を悔い改め神に心から祈ると同時に、信頼できる人(大勢の人に言う必要はない)に正直に自分の弱さを打ち明け共に主に祈ってもらう。それは大きな力です！「互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人(完璧な人のことではなく、自分の罪を神に正直に告白し赦しをいただく人)の祈りは働くと、大きな力があります」(ヤコブ5：16)。
3. 「欲がはらむ(身ごもる)と罪を生み、罪が熟すると死を生みます」：15。悪い行いをした時に罪が生まれるのではなく、悪い願望にすぐに「ノー」と言わず、それを心の中でじっと暖め身ごもらせる時、罪が生まれる。鋭い御言葉の指摘。「罪が熟すると」→何度、主の御声を聞いても罪を悔い改めず、主を信じないで、罪が熟する。その結果「死を生みます」→主を信じないで罪にとどまる人は、地上でも体と心を滅ぼし希望のない死(第一の死)を迎え、死後も永遠に火と硫黄の燃える池の中で苦しむといさばき(第二の死)を受ける(黙21：8)。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠のいのちです」(ローマ6：23)。

Ⅱ 神が与えて下さるもの。

1. 試練といのちの冠。： 1 2。神は、私たちの信仰（神への信頼）をためす試練を与えられる。個人的にも、教会にも。その動機は愛→「主はその愛する者を懲らしめ（訓練し）」（ヘブル12：6）。試練の中で私は神に愛されていないと誤解してはならない。その試練を通して私たちは神に必死に頼ることを学び、忍耐が与えられ、どんな時にも神に信頼して歩む者に変えられ続け、主の姿に成長させて行く。「耐え抜いて良しと認められた（原語：試験された結果、本物であることを証明された）人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠（神の報いという冠。この地上でも忍耐が生まれ、主の姿への成長、生きておられる神を体験する恵み、天でも報いが待っている）を受ける」： 1 2。
2. すべての良い贈り物、すべての完全な賜物。： 1 7。神は誘惑ではなく、かえって、すべての良い贈り物、すべての完全（動機においても純粋、無代価な、十分な）賜物を与えて下さるお方。命、体、食物、着物、水、酸素、土、他すべてを与えておられる。「天の父は…太陽を上らせ…雨を降らせてくださる」（マタイ5：45）。「光を造られた父から下さるのです」→天体の最も強力な代表的存在の太陽（光）、地上のすべての生物の生存を可能にする太陽（光）を造られたお方。「父には移り変わりや、移り行く影はありません」： 1 7。世の物、私たち人間の心、愛は移り変わる。しかし、父なる神は、移り変わる方ではなく、永遠に変わらない愛で愛して下さい。
3. 神からの最高の贈り物＝新生、新しいいのち。「父はみこころのままに、真理のこばをもって私たちをお生みになりました（私たちを救い、新しいいのちを与えられた）。私たちを、いわば被造物の初穂（被造物も世の終わりに新しくされる保証）にするためです」： 1 5と対照的。「被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます」ローマ8：21

Ⅲ 私たちの応答

1. 自分の罪を認め、主を信じ、素晴らしい救いをいただく。
2. 罪の誘惑に負けないように主に祈り、また互いに祈り合う。
3. 試練の中で神を見上げ、神を信頼して歩む。そこにも意味があり、神が益として下さることを信じ、自分がなすべきことを主によって、続ける。
4. 神がすべての恵みを与えておられることを忘れず、恵みを数え心から感謝する。